

元気いっぱい子どもたちと始まった4月。日々の学習で力をつけ、様々なことを乗り越えながら成長してきた1学期の学校生活(68日間)も今日で終了となりました。

今年度から新しい研究主題のもと、今学期4回の研究授業をしていただき、実際の子供たちの姿から教職員で学び合うことができました。遅くなりましたが、今回は1年2組田辺愛先生の「えにっきをかこう」授業の様子をお知らせします。本時は、2/4時間目です。

単元名 してほしいな ほく・わたしのしたこと

教材名 1年2組 「えにっきをかこう」

研究授業：1年2組 田辺 愛 教諭

身に付けさせたい資質・能力：

経験したことから、伝えたいことをはっきりさせて書く力

学習の流れ

してほしいな！
ほく・わたしのしたこと
がくしゅうのなぐれ(4)

めあて
ここにのこったことから
かきたいことをえらびえに
きにかくことができる。

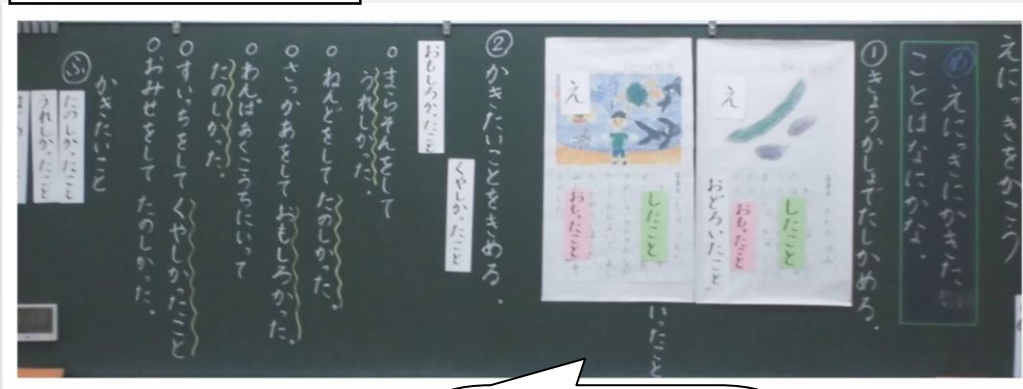
1. こんながくしゅうをしよう。
(けいかく)
2. えにっきにはどんなこと
をかいたらいいのかな。
・きょうかしょでたしかめる。
・かくことをきめる。
3. えにっきをかこう。
4. ともだちとつたえあおう。
がくしゅうのふりかえり

つたえたいことをはっきり
させてかくちから。

本時めあて

えにっきにかきたいことは、なにかな。

本時の板書 2/4



教科書のモデル文
拡大掲示

授業者のリフレクションシートより

発問・振り返り

- ・子どもたちの「やってみたい」「書きたい」という意欲を引き出す学習の流れの大切さ。
- 伝えたい相手に何と言われたかを考えさせ、相手意識を持たせる。

「言葉による見方・考え方」を働かせ、自分の考えを明確にしていく学習過程

- ・教科書から読み取る際、子どもの発言を活かし、整理していく。子どもたち自身が大事なことを見つける。

文章による情報を的確に理解し、自分の考えに生かす

- ・教科書から読み取ったことを自分の絵日記に活かすという意識付け。

今回、3つの視点でグループ別に研究協議を行い、全体共有しました。

① 身に付けさせたい資質・能力を意図した発問や振り返りになっていたか。

○「いつ、どこで、だれが」ということを児童は聞き、知りたいと思っていた。

▼振り返りには、たくさんある中からなぜそれを選んだのかを書いたらいいのではないかな。

代案めあて：「えにっきにはどんなことをかいたらいいのかな」

② 「言葉による見方・考え方」を働かせ、自分の考えを明確にしていく学習過程であったか。

○楽しかったこと→「それはどこ(の部分)?」と問い返し、考えようとしていた。

○既習「したこと」と本単元の学習「思ったこと」をカードで示したことが視覚的に分かりやすい。

▼モデル文で確かめることができるように、下部分など(文章と重ねて示さない)に示すとよい。

▼ペア対話で、理由を聞くことで児童の「書きたい」気持ちが強くなるのではないかな。

▼ペア対話の話型があれば話が進むのではないかな。

③ 文章による情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かす学習指導であったか。

○思い出しメモにたくさん書き、材料を集めていた。【題材集め】

▼絵から文を書くのではなく、文章を書いてから表したい絵をかくようにさせる。

先生の指している部分を見ながら聞いている1年生



指でなぞりながら確かめて

宗崎指導主事より

① 書きたい、書けそうだなと思う児童の姿を目指したい。

書く目的意識が大事。期待する反応を考えさせる、相手にどう思ってもらおうかという設定まで持たせる。(例：大学生をあととおどろかせる、友達を～させる)

② 学習過程の例：一番書きたいことを決めておく → 教科書と比べてみる → 今回は思ったことがある、さらに見たことがある、どうすればいいかな。→ 対話 教師が対話の具体的なイメージを持っておく。対話によって良くなった。書けた。と児童に自覚させたい。

③ 「したこと」「思ったこと」を児童がはっきり分かるようにする。

文章に戻る。既習「したこと」があり、新しい学び「思ったこと」が積み上げられていく。

思い出しメモを見ながら書きたいことを決めていきます



ひらがな50音が書けるようになり、つまる音やのばす音など正しい表記を学んできた1年生。そして、「したこと」「思ったこと」「見たこと」など内容について整理しながら、自分の書きたいことを文章にするという基礎の力をつけている場面でした。4月から学び始めて3か月のこの時期に、授業研究をしていただいた田辺先生、ありがとうございました。

